

けんざい

Vol.271 [2021.4月号]

Pick Up Issue

【リレーエッセイ】顧問のメッセージ

「これからの建築の未来像について」

—日本建築材料協会への期待—

東京大学 教授 野口 貴文 氏

Contents

軌跡を振り返って 長きにわたる活動の振り返りと今後への期待

「70周年によせて」 エスケー化研株式会社 代表取締役会長 藤井 實 氏

「純粋な研究心と絆で発展してきた実直な団体」 東亜コルク株式会社 取締役会長 安田 稔 氏

「協会を存続させるため、次世代に望みを託したい」 株式会社大久 取締役会長 毛利 征一郎 氏



もっと強く、もっと美しく。

耐久性に優れた
2つの鋼板を
選べる

ヨドHyperパネル シリーズ

耐汚染 × 遮熱 × 耐候 × 耐震

新たに生まれ変わったヨドコウの外壁パネルシリーズ。

「遮熱バリア Hyper GLカラー」「フッ素系遮熱バリア Hyper GLカラー」の2種類から鋼板を選択可能。

さらに、長期保証を実現します。

穴あき25年保証 ⊕ 塗膜20年保証

※塗膜20年保証はフッ素系遮熱バリアHyperGLカラーのみにあります。

ヨド耐火パネル グランウォールHyper

横張用

ヨド断熱パネル ファインパネルHyper

縦・横張兼用

ヨド不燃パネル バリアロックHyper

縦・横張兼用

耐火性能により優れた
パネル外装材。



芯材にロックウールを使用し、外装材単体での耐火認定を取得しています。

■標準仕様

製品厚 (mm)	65・91
働き幅 (mm)	600・700・900
芯材	ロックウール
重量 (kg/m ²)	20.0~25.5
製品長さ (mm)	2,000~10,000

※長さ2m以下は別途費用がかかりますので、ご確認ください。
※300m²以下は最寄りの営業所へご相談ください。

規格寸法 (単位:mm)



断熱性能をさらに高めた
パネル外装材。

ヨドコウ独自のかん合構造は、ジョイント部からの熱の流出入を防ぎ、断熱性を高めます。

■標準仕様

製品厚 (mm)	25・35
働き幅 (mm)	600・900・910
芯材	Rタイプ ウレタンフォーム Fタイプ イソシアヌレートフォーム
重量 (kg/m ²)	10.4~11.4
製品長さ (mm)	3,000~10,000

※長さ3m以下は別途費用がかかりますので、ご確認ください。
※300m²以下は最寄りの営業所へご相談ください。

規格寸法 (単位:mm)



短納期・ハイコストパフォーマンス・
高性能なパネル外装材。

本体を定尺化し、在庫を保管することにより、短納期、ハイコストパフォーマンスを実現しました。

■標準仕様

製品厚 (mm)	17.5
働き幅 (mm)	300・450
芯材	ロックウールボード
重量 (kg/m ²)	10.3~10.9
製品長さ (mm)	2,985・3,625

※裏面のロックウールボードの色はバラツキがあり、均一ではありません。品質面での問題はありませんが、内装としてご使用の場合はご確認、ご注意ください。
※PG300NGL (働き幅300mm) は受注生産になります。

規格寸法 (単位:mm)



けんざい

Vol.271

CONTENTS

- 2 **軌跡を振り返って**
長きにわたる活動の振り返りと今後への期待
「70周年によせて」 エスケー化研株式会社 代表取締役会長 藤井 實 氏
「純粋な研究心と絆で発展してきた実直な団体」 東亜コルク株式会社 取締役会長 安田 稔 氏
「協会を存続させるため、次世代に望みを託したい」 株式会社大久 取締役会長 毛利 征一郎 氏
- 9 **開幕直前!建築材料・住宅設備総合展「KENTEN2021」NEWS**
ライフスタイル2.0の提案「安心で豊かな生活環境の未来へ」
- 12 **【リレーエッセイ】 顧問のメッセージ**
これからの建築の未来像について -日本建築材料協会への期待-
東京大学 教授 野口 貴文 氏
- 14 **協会だより**
第5回日本建築材料協会優秀学生賞・奨励学生賞の表彰者決定
- 16 **会員企業の横顔**
アル-アソシエイツ グループ株式会社
八紘電機株式会社
- 20 **新製品&注目製品情報**
天井漏水ストップ機能「導水システム天井」 森村金属株式会社
クギ打ち機で打てるネジ「ピアスバレット」 株式会社九飛勢螺
内装用防火木材「スーパーD パネル」 越井木材工業株式会社
「オーダーメイド照明器具」 八紘電機株式会社
- 22 **OKBC便り** <大阪建築防災センターからのお知らせ>
「省エネ適判対象建築物の規模拡大について」
- 24 **GBRC便り** 一般財団法人日本建築総合試験所提供
「燃烧熱試験装置(ポンプカロリメーター)のご紹介」
- 28 **建築着工統計 2021年2月**
- 30 **協会の行事・活動**

寄稿
第2弾

長きにわたる活動の振り返りと 今後への期待

大阪に「関西建材会」が発足して70年。

(一社)日本建築材料協会は、2020(令和2)年10月、発足70周年を迎えました。

当協会は本部を大阪に置き、建材製造会社・販売会社・施工会社などあらゆる建材関係会社を会員として、全国の支部と連携をとりながら、誕生以来一丸となって歩んでまいりました。

建築材料という、非常に幅広くバラエティに富んだ分野に及ぶ業界の特性を生かし、会員同士の交流はもちろんさまざまな活動に取り組んできました。中でも「建築材料・住宅設備総合展」や「建材情報交流会」の開催は協会として会員の企業が広く情報発信できる極めて意義のあるものとなっています。

近年は会員の海外進出も視野に入れ、海外視察をはじめ他国との交流にも力を入れています。

先人の基盤の上に築き上げる新たなステージ

70周年を目前に控えた2019(平成31)年4月、2013(平

成25)年からトップを務めた(株)ユニオンの立野純三会長(現名誉会長)に代わり、マツ六(株)の松本将会長が協会をけん引していくことになりました。役員にも若手会員を積極的に起用し、次世代へ向かうべく新たな体制を整えました。

これまで協会を支えてくださった先人たちの努力や意思を揺るがぬ地盤として、新しいアイデアやスタイルを築き上げていこうと、役員含め会員の皆さんが一意専心で動いています。

コロナ禍という誰も予想し得なかった未曾有の災禍により、昨年予定していた記念式典という形で70周年をお披露目することはできませんでした。しかし、次世代を見据えてしっかり組織のてこ入れに注力してきた当協会の進む方向性は、何も変わっておりません。

前号の『けんざい』(1月号)では、70周年記念号として、ニューリーダーの皆さんに、今後の抱負や展望について語ってもらいました。

今回は寄稿第2弾として、大変長きにわたって協会運営に尽くして来られた“先人”を代表するお三方から、70周年に寄せたご挨拶をいただいています。

求められる木を、 求められるカタチで。

ASANO
ASANO Enterprises Inc.
木材の輸入専門商社

株式会社アサノ
代表取締役社長 浅野敏行

本社 〒542-0086 大阪府中央区西心斎橋1丁目12番13号 TEL(06)6271-6371 FAX(06)6245-2304
旭川支店 〒070-0823 北海道旭川市緑町17丁目 TEL(0166)51-4114 FAX(0166)51-4119

<http://www.asano-inc.jp/>

70周年によせて



藤井 實
エスケー化研株式会社
代表取締役会長

一般社団法人日本建築材料協会が70周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。激動の70年の中、これも偏に会員企業のご理解とご協力の賜物と感謝申し上げます。

当社は当協会に加入することで信用力を高めたいとの思いがあり昭和44年に入会。その後、私は同47年に評議委員、同63年に理事、平成11年に事業部長、同15年に専務理事、同16年には当時淀川製鋼社長の柴田氏から会長職を引き継いで平成25年までの9年間その職務を全うし、会長職を辞した後も名誉会長として協会に参加するなど、延べ50年以上に亘って協会活動に携わりました。

会長就任中は、従来 of 枠に捉われることのない協会運営と活性化に務め、隔年開催の展示会「総合建築材料・設備展」の刷新や機関誌など広報の強化、アジアを中心とした協会の国際化や国際交流の推進、建材の供給側・使用側間の技術交流を深めるための「情報交流会」など、新しい試みを取り入れることを主眼に、21世紀にふさわしい協会づくりに貢献して参りました。また、会員の若手や中堅の方々が活躍しやすいよう、率先してその

雰囲気づくりや土台づくりに尽力してきたことは今日につながっているように感じています。その中でも特に国際化が必要であるという認識を強く抱いておりましたので、時代の先を見据え、とりわけアジアを中心とした海外展開を強調し、率先して国際交流につとめて参りました。展示会への海外関連出展者の募集、アジア各国へ会員に参加者を募り視察訪問・交流などを行い、活発な国際交流で情報交換や省エネ・環境対策等の問題解決の糸口になるよう日本の高い技術紹介を行い、国際的に問題となっている地球温暖化など温室効果ガス排出量抑制に対して情報発信もして参りました。この他、平成21年には数十年來の念願であった東海支部の立ち上げも行うなど、東京、福岡、中国、四国と併せて全国的な組織の強化につなげ、情報の発信ができるようになりました。

これからの時代、建築業界もSDGs(持続可能な開発目標)として引き続き「安全」「安心」「環境」「健康」がキーワードになってくることでしょう。また、脱炭素に向けた取り組みも社会的ニーズとして高まっています。さらにDX(デジタル



店舗設計・内装業向け

究めます。

「あしもとカナモノ」を

21世紀に

株式会社アシストは

AFOLA

建築家・デザイナー向け

株式会社アシスト 階段滑り止め・床金物専門メーカー

大阪本社 大阪市東住吉区今川4-11-3 06-6703-5670

化技術による事業変革)の推進も個々の企業に求められるようになってきました。

このようにこれからの時代は、日本建築材料協会が歩んできた過去70年以上に目まぐるしいスピードで技術革新が行われ、社会環境が変化していくものと思われまます。このようなことを考えると従来のやり方では生き残ることはできません。

このような情勢下、昨年よりパンデミックのコロナ禍で大変厳しい経済環境下ではありますが、この70周年を契機に、今までの実績と伝統の上

に、新しい息吹を吹き込んで輝かしい歴史を刻まれることを祈念申し上げるとともに、皆様方のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。

協会での主な略歴

1988年に理事に就任後、事業部長、専務理事を歴任。

2004年に会長に就任後は、「総合建築材料・設備展」の刷新や「情報交流会」の創設のほか、アジアを中心とした国際交流の礎を築くなど、今日の協会となる屋台骨の構築に尽力されました。



展示会「けんざい」の開会式 (2009年)

▶ 海外の動向を注視するため行われた上海視察 (2004年)



省力化、快適、健康、安全、安心 環境性向上、資産価値の向上

エスケー化研は、技術革新を推進し、未来へつながる新型製品を提供し続けます。



建築仕上材の総合メーカー

エスケー化研株式会社

SKKAKEN 本

社：大阪府茨木市中穂積 3-5-25 ☎072-621-7733

詳しくはホームページをご覧ください

<https://www.sk-kaken.co.jp>



純粋な研究心と絆で 発展してきた実直な団体



安田 稔
東亜コルク株式会社
取締役会長

弊社東亜コルク株式会社は1985（昭和60）年に入会し、協会と共に35年歩んできました。

協会との出会いは、会社の事業変革がきっかけでした。親の代より営んでいた電柱腕木業からコルク専門業にシフトするに当たり、コルクの物性を研究・テストする必要がありました。そこで会員になると同時に、協会と日本建築総合試験所（以下GBRC）が連携して組織する建材研究会の立ち上げに参画しました。私は音熱性能分科会で、主に音の問題に関する調査研究に取り組みました。

自社のために始めたことですが、協会や研究会の人々との出会いは私に大きな刺激をもたらしました。さまざまな専門分野の人が集まって「あれはいい、こういうのはどうだ」と意見を交わし合う。よいアイデアがあればコラボしたり、すぐGBRCに持ちよって試験をしたり、大企業と違い独自に試験設備を持たない中小企業にとって、このようなスタイルで開発に取り組めるのはありがたいことでした。

協会や研究会は、建材によって快適な住まいづくりを実現したい、と純粋に願う仲間たちの集合

体のようなものです。そこから自然に生まれる交流や絆は取引先の幅を広げてくれました。年月を経て、協会を離れた同志もいますが、今でもありがたいことに取引は続いています。われわれのような団体は本来こうした性質であるべきですし、今も変わらないと思います。自社のビジネスを有利にすることだけを目的に入っても別によいのですが、当協会には少しなじまない考え方だと思います。

私は役員として協会運営にも携わらせていただき、長年にわたり財務副部長を務めました。任期中で印象に残っているのは好況時代の展示会です。展示会は協会にとって最大にして最重要のイベント。かつてはEU諸国の出展が多数あり、毎回盛況でした。しかしバブル崩壊後に続く不景気、さらにリーマンショックによる経済不況の影響で、展示会の中断を余儀なくされてしまいました。止むを得ない決断でしたが、非常に寂しさを感じました。その後無事再開して現在に至っていますが、何とか盛り上げていきたいものです。

一方で会員数も減っているのも、こちらも増強していくことができればと感じています。協会では、

見えなるところで大活躍。

X線防護材・放射線遮蔽機器・遮音材・防水用副資材・耐酸機器



オーケーレックス株式会社

本社・工場 〒650-0047 神戸市中央区港島南町3-3-19 TEL. 078-304-1551
東京営業所 〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-11-7 A&Kビル2F TEL. 03-5820-4311

<http://www.oklex.co.jp>

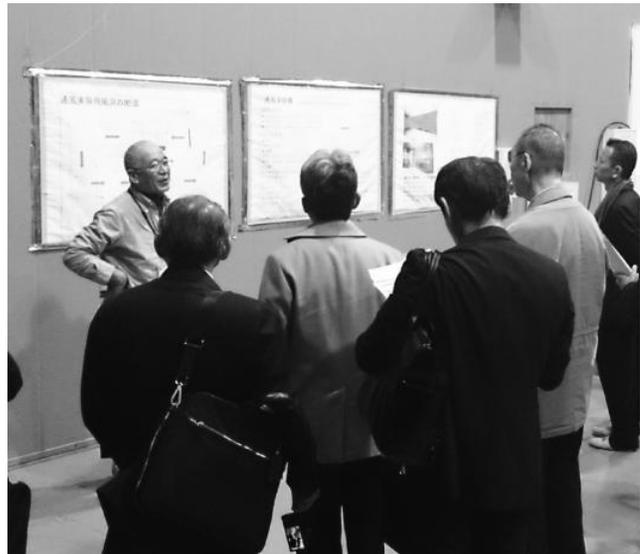
技術部を設けて技術的な部分でも取り組みを進めています。こうした動きによって、会員から意見や問題点を吸い上げて国に発言できるような体制づくりができればと思います。学術機関との連携も含め、協会として研究開発を行えば国から予算も付きます。そうすると会員増にもつながるでしょう。

この協会は、業界の発展を目指し、技術の追求に徹して研鑽に励む、欲得のない実直な団体です。だからこそ、各先生方からの指導でよいヒントを得られれば、技術開発の方向にうまく舵を切れ

るかもしれません。そうすれば国の支援も受けられ、提言もできます。ぜひ活路を見いだしてほしいと思います。

協会での主な略歴

協会入会後は、協会と日本建築総合試験所(以下GBRC)が連携して組織する建材研究会の立ち上げに参画。音熱性能分科会に所属し、日本建築総合試験所と意見交換をかわしながら、業界の発展に寄与。また財務副部長として協会に尽力いただきました。



▲ 安田氏が注力した建材研究会は今もなお活発に活動している

PIAS

ピラスピス

ピラスト

建築用ねじ・工業用ねじ・関連製品の製造・販売



信頼のブランドとユーザーの立場にたった製品開発で
魅力あるファスナーをお届け致します。

QP

QP fastening works

きゅうびせいら
株式会社 九飛勢螺
大阪本社
大阪市住之江区新北島4-3-44 TEL 06-6681-5858 FAX 06-6681-5855
東京営業所
東京都台東区浅草6-15-2 TEL:03-6802-3397 FAX:03-6802-3398

協会を存続させるため、 次世代に望みを託したい



毛利 征一郎
株式会社大久
取締役会長

戦後の激動の時代に誕生した当協会が、発展を続けながら70周年の節目を迎えたことを喜ばしく思います。

協会での経験を振り返り、印象深かったことは何かと聞かれると、いつも私の答えは決まっています。それは「ハイジャック事件」。

1982(昭和57)年7月、協会が派遣する訪中団の一員として中国を視察しました。訪中は、積極的な住宅建設事業が進められ発展目覚ましい中国を訪れ、建築・建材関係機関と懇談したり、工場や建設現場などを見学したりして、将来の日中建材業界の交流に貢献することを目的としたものでした。

その旅程で搭乗していた中国民航機(西安-上海)がハイジャックに遭ったのです。犯人グループに制圧され、機内が騒然とする中、犯人の一人がダイナマイトを爆発させ、機体に大穴が開きました。飛行機はその後バランスを失いながらも何とか上海空港に着陸。奇跡的に死者は出ず、犯人らも御用に――そんな事件でした。

爆発音がしたときは死を覚悟しました。まさか

自分が、協会の任務で訪れた中国でそんな目に遭うとは。しかし結果的に九死に一生を得て、今こうして生きているわけです。この体験をしてから私は人生観が変わりました。一度は失いかけた命、生きているだけで儲けものだ、怖いものなど何もない、と。何事にも吹っ切れて臨むことができるようになりました。

その出来事があまりにも強烈な思い出として私の記憶を占めておりますが、以降も当協会では財務部長を長年務め、現在も財務副部長として理事に名を連ねさせていただいております。1990年代から2000年代にかけては、日本経済が低迷して、その影響から社会の動きも何かと不穏な時代でした。私は、協会の存続だけは何としても守らねばならない、と思っていました。「失われた20年」と称された時代の真ただ中。ピーク時は500社前後まで増えた会員が、一社、また一社と抜けていく様子を目の当たりにすることになりました。正直な気持ちを持ちを明かすと、「下手したらなくなるかもしれない」という危機を感じたこともありました。

会員数の減少に歯止めをかけるためには、今一

JAPANESE DESIGN INSPIRE



王建工業株式會社

代表取締役社長 永原 穰

—— 都市は文化の記憶装置である ——

- 販売部門 内装材全般・住宅機器
- 加工部門 住宅部材・鋼材加工製品
- 工事部門 建築企画・設計・施工

〒530-0047 大阪市北区西天満4丁目8番17号 TEL(06)6362-9402(代)

<http://www.ohken-industry.co.jp/> FAX(06)6365-9917

度、ふんどしを締め直して取りかからなければなりません。これからは、中堅や若手の方々に構成する次世代の会員に望みをかけたい。松本会長にも、うまく旗を振って行ってほしいと思います。

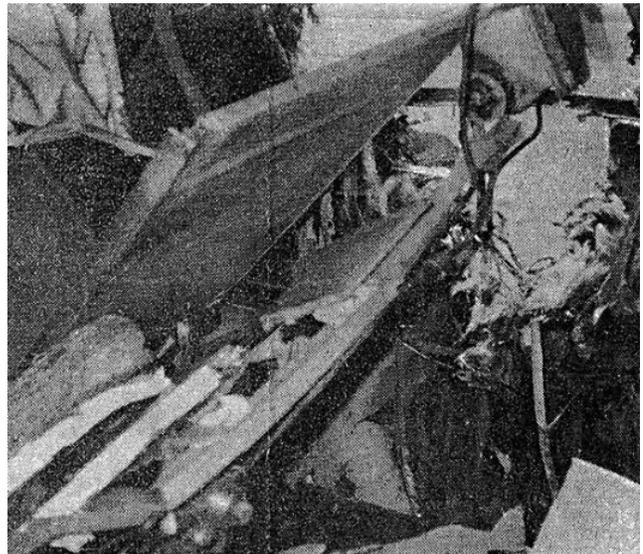
70年もの長きにわたって続いてきた協会です。決して消滅させてはいけません。それには全員が協力し合わなければならない。今残っておられる会員の皆さんで協会の魅力や価値を発信し、一社でも多く共感してもらい、共に業界の発展に尽くす仲間となってもらう必要があるわけです。今は時期

的に難しいですが、海外に定期的に出て行くなど、広い視野も必要だと思います。日々、少しでも団体の価値を高めていき、将来の発展につなげられることを願ってやみません。

協会での主な略歴

1982年7月の訪中団の一員として中国を視察のほか、国内外を問わず精力的に協会の活動に参加。

現在は、財務副部長として協会運営を支えています。



▲ハイジャック犯により爆破された飛行機が当時の凄惨な様子を物語っている



階下へ避難

避難弱者をつくらない。 全ての人々が安全に 避難できる。

床埋設式降下型避難機器

UDエスケープ・ウィズ



UDエスケープをさらに進化させ、今まで避難が不可能といわれていた車椅子利用者も、避難が可能になりました。

車椅子利用者は、車椅子に座ったまま、単独避難が可能となり、また、介助者がいる場合でも二人同時に避難できます。避難器具を想定しているため停電時でも使用できる無電力仕様です。

ナカ工業株式会社

<https://www.naka-kogyo.co.jp>

札幌支店 Tel. 011-662-7611 東京支店 Tel. 03-5826-2710 名古屋支店 Tel. 052-709-7771

大阪支店 Tel. 06-6886-8966 広島支店 Tel. 082-527-1020 福岡支店 Tel. 092-452-8611

開幕直前!

KENTEN^{建展}

建築材料・住宅設備総合展 2021

Lifestyle 2.0
ライフスタイル2.0 の提案

安心で豊かな生活環境の未来へ

新型コロナウイルスが生活にもたらした影響は大きく、建築や建材の業界にも大きな爪痕を残しました。現場の休業による完成の遅れや、商材の供給停止など、徐々に戻りつつあるものの、先行きは不透明な状態にあり、業界の新たな課題や乗り越えないといけない問題が、明らかになりました。

2021年6月10日(木)6月11日(金)にインテックス大阪にて行う建築材料住宅設備総合展「KENTEN」は、これらの建築、建設業界の課題解決の場を志向し開催してまいります。「ライフスタイル2.0の提案」をキーワードとして開催する弊展を貴社の新製品、サービス発表の場、新規顧客の獲得・販路拡大の場としてご活用ください。



AHPCII^{EPDM} シールレス

ANTARES HOLE-LESS PARAPET CAP2 EPDM SEAL LESS
アンタレス・ホールレス・パラペットキャップII シールレス

日本で初のパラペットの納まりの標準化
換気部材が笠木一体、横打ち固定で完全ホールレス！
雨仕舞い緩衝材も一体化でシーリング工程不要！



雨仕舞い緩衝材 EPDM

 **hauseco**

株式会社ハウゼコ

大阪府大阪市中央区南船場 2-10-28 NKビル6F TEL06-4963-8266 FAX 06-4963-8267 hauseco.jp

展示見本市は次のステージへ

業界の底上げと変革を提案するイベントとして、より“建築”を身近に感じ活性化を促進すべく様々な提案を行える展示会を目指します。



業界活性化

コロナ禍により冷え込んだ経済は関西・大阪万博が開催される大阪から回復していくと考えられ、その中心地での開催によりビジネスマッチングを目指します。



オンライン・オフラインをミックス

互いの強みを活かし、相互補完を図り、高効率な展示会を志向します。



体感×経験=強み

見て、触って、試して、動かして。展示会の本質である部分にスポットを当てます。



若手・なり手の支援

業界活性化に必要な、若い世代を応援する企画や、情報収集、知識深耕の場を提供します。



中小企業への支援

住宅・建築業界を支える中小企業へのソリューションを提案いたします。新製品、新技術はもちろん経営の高効率化、人材育成など、中小企業が抱える多種多様な課題解決のための有益な情報を提供します。



新たな価値の提案

ライフスタイルを豊かにする、住まいや建築の提案。デザイン性・アート性を加えることで新たな価値を表現します。

KANPOH CEILING & WALL SYSTEM REVOLUTION

日本製鉄スーパーダイヤ採用で、耐食性は溶融亜鉛めっきの15倍。
後塗装(タールエポ)不要で、高温の室内天井でもコストを削減。

高耐食性鋼製天井・下地材

スーパー
Super 軽天

関包スチールの
建築用鋼製天井・
壁下地材シリーズ

※錯でお困りの方。耐震施工を考えている方。

今すぐ  **0120-6449-81** へ
「Super 軽天」「TS スタッド」のカタログをお送りします。

従来の角スタッドに振れ止めを付け、下地材を一体化。
簡単施工で強風・地震に強い壁・天井を実現し、工期も短縮。

振れ止め付き角スタッド

TSスタッド

関包スチール株式会社

本社 〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-6-21
TEL/06 (6449) 8811 (代)

浦安営業所 〒279-0032 千葉県浦安市千鳥 15-30
TEL/047 (304) 2050 (代)

<http://www.kanpoh.co.jp/>

新企画・強化企画



抗菌・ウイルス対策ゾーン

抗菌（ウイルス）をテーマとしたゾーン。ウィズコロナ時代の住まいづくりや、オフィス環境整備に対応する事を目的として開催します。抗菌建材や塗料、非接触製品に換気システム、水回り関連などが集結します。



リモートワーク／テレワーク対応ゾーン

住まいやオフィス以外の場所でのリモートワーク、テレワーク推進のためのゾーン。快適で働きやすいリモートワーク環境づくりを実現する吸音システムや、防音床材、書斎づくりなどの商材やサービスが集まります。



デザイン建材／アートゾーン

商空間やオフィスにアート、植物を使った空間演出などを導入して従業員のモチベーションアップや働き方改革、ブランディングの向上を狙う企業が増えています。また、リモートワークの普及により、家庭の時間が増えることで生活空間への拘りが注目を集めることが考えられます。当ゾーンではそういった需要にこたえるデザイン建材や、アートに関連する商材が集まります。

開催概要

名称	建築材料・住宅設備総合展 KENTEN2021
会期	2021年6月10日(木)・11日(金)
会場	インテックス大阪 (〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-5-102)
主催	(一社)日本建築材料協会、日本経済新聞社、テレビ大阪(順不同)
共催	大阪建築金物卸商協同組合
後援	経済産業省、国土交通省、環境省、大阪府、京都府、兵庫県、大阪市、東大阪市、京都市、神戸市、(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)大阪本部、(一社)日本建築学会 近畿支部、(一社)大阪建設業協会、(一社)日本建設業連合会 関西支部、(一社)日本建築構造技術者協会 関西支部、(公社)日本建築積算協会 関西支部、(一社)建築設備技術者協会 近畿支部、(一社)大阪電業協会、(一社)大阪空気調和衛生工業協会、(一社)大阪府設備設計事務所協会、(一社)関西建築構造設計事務所協会、大阪建築金物工業協同組合 他〔予定・順不同〕
特別協力	(一社)日本建築協会、(公社)大阪府建築士会、(公社)日本建築家協会 近畿支部、(一社)大阪府建築士事務所協会
運営事務局	テレビ大阪エクスプロ
入場料金	無料〔登録制〕
目標来場者	15,000人
展示規模	100社・団体、160小間(見込)



次代のニーズに向け強く躍進

児玉株式會社

札幌支店 札幌市白石区北郷5条6-3-10 TEL 011-872-3671

仙台支店 仙台市若林区卸町3-5-5 TEL 022-232-5681

新潟支店 新潟県三条市荒町2-24-28 TEL 0256-35-0411

埼玉支店 さいたま市北区宮原町2-18-1-2F TEL 048-661-7075

東京支店 東京都墨田区緑4-22-2 TEL 03-3631-1701

横浜支店 横浜市都筑区桜並木3-1-1F TEL 045-949-1360

名古屋支店 名古屋市北区社本通3-2-3 TEL 052-982-0070

大阪支店 大阪市中央区谷町7-5-8 TEL 06-6762-5741

高松支店 高松市元山町1272-6 TEL 087-867-8384

広島支店 広島市南区仁保新町2-9-21 TEL 082-281-4261

北九州支店 北九州市小倉北区赤坂海岸9-11 TEL 093-541-8881

福岡支店 福岡市博多区豊2-4-23 TEL 092-474-2233

沖縄支店 那覇市銘苅1-1-20 TEL 098-866-8260

静岡営業所 静岡市清水区興津中町862 TEL 054-369-6333

旭川出張所 北海道旭川市豊岡1条2-4-1-1F TEL 0166-37-8670



これからの建築の未来像について — 日本建築材料協会への期待 —

野口貴文 東京大学 教授

日本建築材料協会のホームページを拝見し、その前身である関西建材会が1934年6月8日に設立され、同会が戦後の1950年10月8日に再発足されてから、それぞれ87年、70年もの長い歳月が経過したことを改めて認識いたしました。日本建築材料協会は、戦争期、戦後の復興期、高度経済成長期、オイルショック後の安定成長期、バブル経済期、バブル崩壊からアジア通貨危機・リーマンショック・東日本大震災などを経て現在に至るまでの長い低成長期・停滞期において、各時代における建築設計・建築生産のニーズに合った建材や各企業の独創的なシーズを基に開発された新建材を社会に提供し続けるなど、各時代の潮流を的確に捉えた活動を展開してきたからこそ、70年以上もの長い間、存続してこられたのだと思います。

2021年現在、日本経済の長い低成長・停滞は、様々な社会問題を生じさせています。

日本の人口は、2010年の1億2806万人をピークに減少傾向が継続しています。そして、平均寿命の伸びや出生率の低下により、少子高齢化が進み、就労者人口も減少しています。建設業では、約1/3の就労者は55歳以上であり、今後、さらに労働者不足は深刻になると予想されます。これに対処するためには、建材産業を含む建設業における生産性の向上や流通の改善は急務であり、若手就業者を含む労働力の確保のためには、労働生産性(生産効率)の向上を図って魅力的な産業へと変革し、優秀な若

手人材を継続的に獲得し、育成していく必要があります。

現在、単なる情報社会(Society 4.0)ではなく、サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムによって経済発展と社会的課題の解決を両立しようとする新しい社会(Society 5.0)が提唱されています。このSociety 5.0こそが、まさに建築業界にとって望ましい社会なのではないでしょうか。人類が長年かけて培ってきた学術・技術・芸術の分野を尊重しつつ、IT・IoT・ICTを駆使した情報技術との融合が図られた社会では、建築施工や建材生産において匠の技が継承されるとともに、歴史的・文化的建築物の再生・保存がなされ、各種センサ、AI(人工知能)、BIM(Building Information Modeling)などによって、建築生産活動・建築保全活動などが合理的・効率的にサポートされる社会が到来することが予想されます。それに向けて、建築材料・建築部品の製造業・販売業を多く会員に含む日本建築材料協会は、各社の協力を得て、インターネットを通じて情報が容易に入手でき、BIMで有益に活用できるような建材データベースを構築すべきではないかと思えます。また、センサと一体となった建築材料・建築部品の開発や、データベースを活用してのAIによる建築設計支援システムの構築も後押ししていくべきでしょう。一方で、建築は人間の生活・活動の場そのものであることから、建築材料・建築部品は、人間に健康・幸福を与え続けられるものでなければな

オリジナル金物製作 **半世紀**

建築金物のエキスパート

無溶接金物・吊元金具

- 床・壁・天井用
- 鋼製下地用
- 防振・遮音
- デッキプレート・折板用
- すじかい用
- 耐震・耐風圧用
- H型鋼・C型鋼用
- 鉄骨・木用
- 耐火・防火用

金物製作・製品開発などご相談下さい。

建築金物製造販売・建築資材販売

SAWATA

株式会社 サワタ

本社 〒661-0951 兵庫県尼崎市田能5丁目8番1号

TEL(06)6491-0677(代) FAX(06)6491-0699 番

岡山工場 TEL(0868)28-9711 番 FAX(0868)28-9788 番

田能工場・倉庫 TEL(06)6491-1676(代) FAX(06)6491-1693 番

http://www.sawata.co.jp/ E-mail: info@sawata.co.jp

らないということも忘れてはなりません。人間は、合理性・効率性だけによって健康・幸福が得られる存在ではありませんから、建築空間からは、心を豊かにしてくれる文化・歴史・芸術を感じ取れることは重要で、日本建築材料協会は匠の技を後世まで伝承していけるような人材の育成制度などをも構築していく必要があるのではないのでしょうか。

さて、2015年に開催されたCOP21において世界約200か国の合意により採択されたパリ協定では、産業革命前からの世界の平均気温上昇を2℃より十分低く保ち、1.5℃以下に抑える努力を追求することとなりました。そして日本は、2030年度までに2013年度比で温室効果ガス排出量を26%削減することを目標として定めました。また、菅首相は、2020年10月の臨時国会の所信表明演説で、国内の温室効果ガスの排出を2050年までに「実質ゼロ」とする方針を表明しました。全産業において温室効果ガス排出量の削減は至上命題となっていますが、日本において、温室効果ガスの主役であるCO₂の排出量の40%程度を占める建築のライフサイクルにおいて、CO₂の排出削減は急務となっています。このような状況下、様々な国内外の企業において、大気中のCO₂や排ガス中のCO₂を資源とみなし、それを有効利用して原材料や製品を作り出そうとする技術開発が活発に進められています。すなわち、CCU (Carbon Capture and Utilization)です。いくつかの技術は既に実用化の域に達したものもあり、原材料や製品が生み出されてきています。建築分野も、決してその例外ではありません。むしろ、CO₂と結びついて化合物となり、新たな材料・製品の原材料として利用することのできる元素を多く建築材料は含んでいるのです。典型的なものがカルシウム (Ca)であり、Caを含むセメントや石灰、石膏などを用いて製造された建築材料は、建築にとって欠かすことのできな

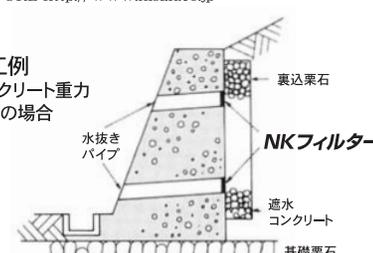
い構造材・内外装材・下地材などとして大量に使用されています。すなわち、建築物が集積している都市は、新たな建築材料を生み出す元素の宝庫であり、まさに鉱山と言えます。2010年7月発行の「けんざい229号」で私は、「建築物・土木構造物の解体に伴って発生するコンクリートやボード類の廃棄物に含まれるカルシウムを二酸化炭素と結合させて人造石灰岩を製造し、それをセメントクリンカーなどの原料として利用することができれば、セメント系建材は、木材と同様にカーボンニュートラルな材料になるだけでなく、カルシウムをもコントロールすることができる。すなわち、無機系建材の輪廻転生が実現できるかもしれない。」と私見を述べさせていただきましたが、それが現実のものとなりつつあります。

最近、私から日本建築材料協会に無理をお願いすることが増加しつつありますが、いつも、受身的にお聞きいただくのではなく、協会自ら能動的・積極的に対応していただいております。そのご尽力に紙面を借りて感謝申し上げます。具体的には、建築材料・建築部品に関係するISO規格やJIS規格の制定・改正に際しての委員派遣や事務局承引のお願いです。今後とも、様々な種類の建築材料や建築部品を扱っている企業が参画している日本建築材料協会には、その多様性と70年以上に及ぶ存続の歴史で培われた経験を活かして、「働きがいも経済成長も」(Goal 8)、「住み続けられるまちづくりを」(Goal 11)、「つくる責任つかう責任」(Goal 12)、「気候変動に具体的な対策を」(Goal 13)など、SDGsの達成に大きく貢献すべく、これまで以上に活発に活動を展開され、将来に渡って日本の建築界・建築材料界の繁栄を牽引し続けてくれることを期待しています。

一発施工の水抜きパイプ用フィルター
新しい土砂流出防止材 NKフィルター PAT.

NKフィルターは、あらゆる擁壁のあらゆるパイプの種類と状態に対応します。
URL <http://www.nisan.co.jp>

施工例
コンクリート重力
擁壁の場合



にさんさんぎょう
二三産業株式会社

〒540-0011 大阪市中央区農人橋2-1-31
TEL06(6944)1231 FAX06(6944)1232

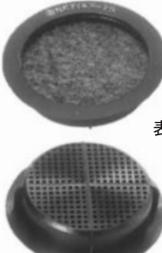


表
裏



第5回日本建築材料協会優秀学生賞・奨励学生賞の表彰者決定

優秀学生賞・奨励学生賞は優秀な人材を育成するため建築材料を主として勉学する学生に対して建材の調査研究、新たな開発および発展に寄与した学生に対し表彰することを目的とした表彰制度です。

対象は大学院・大学・短期大学・高等専門学校等に所属する学生の建築材料に関する卒業・修士論文、および卒業・修了制作(作品)を対象としています。

当協会顧問の野口 貴文氏(東京大学 大学院工学系研究科建築学専攻 教授)、岩前 篤氏(近畿大学 建築学部長 教授)、小山 智幸氏(九州大学 大学院人間環境学研究院 都市・建築学部門准教授)の他、山中豊茂専務理事、佐藤榮一常務理事による選考委員会で厳正なる選考の結果、26名に対し優秀学生賞を授与いたしました。



職人モリソンが アイデアを カタチにします

- メタル天井材
- スバンドレル
- 導水天井材
- ビルエッジパネル
- サイディングジョイナー
- サンシャインウォール
- まもりへの
- スライドパーティション
- ワンにゃんフリーパス



森村金属株式会社

本社 / 工場 東大阪市角田1-8-1 〒578-0912 TEL.(072)962-7321 FAX.(072)965-6954 ●IP電話 050-5509-7166
東京支店 東京都中央区八丁堀3丁目7-1 TEL.(03)3552-0191 FAX.(03)3552-0190 ●IP電話 050-5509-7167
宝ビル本館4階 〒104-0032
名古屋支店 愛知県名古屋市中村区則武1丁目10番6号 TEL.(052)453-2247 FAX.(052)453-2248
側島ノリタケ第1ビル504号室 〒453-0014
九州営業所 福岡市博多区博多駅南1丁目7-22 TEL.(092)432-8619 FAX.(092)432-8620
フックロン福岡ビル4階B号 〒812-0016
関東工場 千葉県富里市美沢7番7号 〒286-0225 TEL.(0476)90-0031 FAX.(0476)90-0032

【2021年受賞者】優秀学生賞（推薦日付順）

大学院・大学の部			
卒業論文	早稲田大学	服部 ほの花	日本における土や石を用いた組積構法に関する研究
卒業論文	工学院大学	山田 達也	施工技術者の施工実態分析に基づく外壁タイルの打診時周波数特性と付着抵抗性
卒業論文	九州産業大学	上野 海斗	混和材を使用したコンクリートの表面吸水試験による中性化予測に関する研究
卒業論文	立命館大学	福井 明子	含水状態がモルタルの圧電効果に及ぼす影響
修士論文	北海道大学	東 優太郎	コンクリートの凍害劣化性状に及ぼす遷移帯の影響
卒業論文	北海道大学	藤原 和志	コンクリートの凍害における遷移帯の影響
修士論文	明治大学	荻島 碧	石炭ガス化スラッグのコンクリート用細骨材への適用性に関する基礎的研究
卒業論文	芝浦工業大学	淡中 菜央	コンクリートの表面形状計測による内部鉄筋の腐食状況の非接触的評価方法
卒業制作	東京大学	三浦 隆哲	エアロゲルの建築的可能性を探る
卒業論文	近畿大学	西川 駿平	3次元有限要素法によるエアロゲル混入モルタルの熱伝導率の推定に関する研究
卒業論文	東北大学	原 星海	テラヘルツ反射波による繊維補強セメント系複合材料の自己治癒性能評価方法に関する研究
卒業論文	東京都市大学	田中 雅俊、深澤 昇利	再生粗骨材 M を使用したコンクリートを建築構造物で活用するための品質に関する検討
卒業論文	宇都宮大学	仲島 夏彦	交流インピーダンス計測に基づくモルタルの含水率・圧縮強度のスパース推定に関する研究
修士論文	北九州市立大学	天野 幹久	複数の再生材料を複合混合したコンクリートの耐久性に関する研究・細骨材と混和材の置換率が乾燥収縮と細孔構造に与える影響
卒業論文	日本大学	川崎 浩長	バクテリアを用いた自己治癒モルタルに関する基礎的研究
修士論文	名古屋大学	藤牧 哲也	1H-NMR Relaxometry を用いた乾燥・吸湿環境下での C3S ペーストの収縮メカニズムに関する考察
卒業論文	名古屋大学	瀬川 実暉	長期間の調湿による低熱ポルトランドセメントを用いた硬化セメントペーストの空隙構造変化
修士論文	京都大学	陶器 美詠	文化財建造物における障壁画を有する戸襖の材料変形に屋内外温湿度が及ぼす影響
卒業論文	琉球大学	請升 慧	長期観測データに基づく沖縄本島海岸付近の飛来塩分予測における機械学習の適用
卒業論文	近畿大学	木村 藍香	レンガ造煙突の保存のための脱塩手法に関する実験的検討
卒業論文	九州大学	今津 由貴	人工乾燥による木材の内部割れの実態調査と評価
修士論文	九州大学	藤岡 航介	川上から川下への追跡調査に基づく熊本県におけるスギ・ヒノキ構造材の需給量の推定
修士論文	九州大学	倉田 慎太郎	暑中環境下で施工されるフライアッシュコンクリートの強度および耐久性に関する研究
卒業論文	日本大学	北村 勇翔、高橋 功樹	石綿含有仕上塗材の除去作業に関する研究

短期大学・高等専門学校部

卒業制作（作品）	修成建設専門学校	岡本 絹世	Another way Same space	ーデジタルネイティブな時代に求めるアナログー
卒業制作（作品）	修成建設専門学校	竹中 裕哉	行李劇場	

輸出入  国内販売

淀鋼商事株式会社

●営業品目● 鋼板商品・建材商品・エクステリア商品・燃料・非鉄金属・産業機械・陸海輸送・損害保険・その他

本社 / 〒541-0054 大阪市中央区南本町4-1-1(ヨドコビル5階)
 TEL.06-6241-7231(代) FAX.06-6241-7251(代)
 URL.http://www.yodo-sho.co.jp

支店 / 東京・大阪・福岡 工場 / 呉
 営業所 / 市川・名古屋・金沢・高知・広島・呉



日本とイスラム国のコーディネーターとして ニーズ高まる建築技術指導での貢献目指す

イスラム市場に進出したいと考える日本企業に対し、多方面からのサポートを行うアル-アソシエイツ グループ。バングラデシュをメインに、ドバイやサウジアラビアなど、40カ国以上のイスラム国を対象としています。代表取締役・吉田浩一さんは、現地政府とのつながりを生かし、現地での土木・建築における技術支援を展開しようと奮闘中です。



代表取締役

吉田 浩一 氏

1965(昭和40)年 滋賀県彦根市生まれ
1987(昭和62)年 同志社大学卒業後、住友銀行(現三井住友銀行)に入行
2016(平成28)年 生命保険会社での勤務を経て、3月にアル-アソシエイツ グループ株式会社を設立

社名 / アル-アソシエイツ グループ株式会社
代表者 / 代表取締役 吉田浩一
設立 / 2016(平成28)年
資本金 / 2,000万円
従業員 / 12人(2021年4月現在)
事業内容 / Made in Japanの海外市場での展開支援海外のインフラ整備等、各国政府との連携事業・日本企業の海外進出支援
本社所在地 / 東京都中央区日本橋富沢町7-15-903
支社 / バングラデシュオフィス、大阪支社
TEL / 03-5641-0708
URL / <http://al-associates.asia>
メール / info@al-associates.asia

■「ハラール認証」から「現地で売る・つくる」へ ——事業を始めようと思ったきっかけは?

吉田 前職(生命保険会社)時代に出会ったバングラデシュ人のパートナーと、日本商品を現地で広めようと考えたのが発端です。イスラム教のバングラデシュと日本では、宗教はもちろん法律も習慣も大きく異なるので何かと難しいのですが、せっかく持っている両国のパイプをもっと太くして、多方面から両国のためになることを目指そう、そんな思いで始めました。——当初はどのようなことをされていましたか?

吉田 「ハラール認証」という言葉を聞いたことがあると思います。宗教上の理由で食べられないものがあるイスラム教徒の方々に、安心して日本の食を楽しんでもらえるよう、しかるべき機関が生産者や飲食店などを審査して発行する認証です。当社は認証機関として、手続きから認証取得までをサポートする業務に取り組み始めました。

課題はコストでした。訪日するイスラム国の方々は、かつてより増えたとはいえ、インバウンドの中では依然として少数です。ハラール認証は毎年更新する必要があり、そのたびにコストと労力を割く必要があります。そこで考えたのが、日本でつくって認証したものをイスラム国へ持って行って販売することです。——来るのを待つより、こちらから行こうと。

吉田 その通りです。品質の高いものや、現地では入手できない価値が希少なものを厳選しています。例えば牛肉、果物、ノンアルコールビールなどです。他にも商品の充実を図っているところですが、やはり現地の方々にとっては高価なので限度があります。今、次のステージに移りつつあります。いっそ、原料を持って行って現地でつくろうじゃないかと。

■現地政府主導の工場建設、インフラ整備に参入

吉田 現地で製造するとなると、工場や事務所の建屋が必要になります。そこで当社が、現地のゼネコンなどとタイアップしてくれる日本企業を探してつなぐわけです。建築、土



バングラデシュのオフィス

木、機械関連の、できれば大手ではなく中堅の会社とつながりたいと考えています。

—どのようなプロジェクトがあるのですか？

吉田 例えば今、アフリカ某国で日本の自動車メーカーが車の製造ラインをつくっているのですが、当社と日本の建築関連企業が協力して建屋の建築に関わっています。スーパーバイザーとして現地で建築の指導をするという形です。

同様の案件をさらに展開するため、先日ドバイとアラブ首長国連邦へ行ってきました。彼らの国は今“脱石油社会”を目指しており、土に返るバイオプラスチックの生産を検討しています。ここで日本企業とのタイアップを計画しているところです。—そうした大きな事業に参入できる強みはどこに？

吉田 日本企業がイスラム国への進出をためらう一番の理由は、資金回収への不安です。しかしそこは、各国の政府機関と強い結び付きを持っているわれわれに任せたいところです。最も政府とのパイプが太いのは、メイン拠点としているバングラデシュです。バングラデシュの国営銀行4行のうち2行に日本製のATMを入れたのは当社なんですよ。

従って、ODA(政府開発援助)の枠で行われる事業などに参入することができ、回収への不安がない案件を提示できるわけです。これが一番の強みです。

—ODA枠というと、例えばどのような事業ですか？



現地の業務提携建設会社の建設現場(バングラデシュ労働者用宿舎)



バングラデシュの製糖工場とその役員、従業員と共に

吉田 現在、火力発電所を2基つくっていますし、今後はミャンマーとの国境近くに金融港湾都市を建設予定です。これらの案件を日本の中堅企業とつながりたい。これも現在進行中なのですが、バングラデシュ国内に15カ所ある国営製糖工場が老朽化して、順次リニューアルされているところです。そこで、当社のアレンジで現地ゼネコンと組んで技術指導に当たってもらったり、あるいはJVで協業してもらえよう、手を挙げてくれる日本企業を探しているところです。

■イスラム国のニーズを伝え、現地とつながりたい

—今後、当協会の一員として、どのような形で関わっていきたいとお考えですか？

吉田 今、アラブをはじめとするイスラム国では、外国製品が高いため国産品のニーズが非常に高まっています。日本製品を持って行って売るのにも限度があると言ったのはそのような背景からです。だから自分たちでつくりたいと考えている。つまり、今彼らが日本から欲しいのは「モノ」ではなく「技術」なのです。

今後、バングラデシュをはじめイスラム各国で、生産工場や設備をつくる動きが進んでいくと私は考えています。こうした情報を、ぜひ協会を通じて会員企業の皆さまに知ってもらいたいと思います。タイアップが実現し、一緒に両国の事業の発展に寄与できれば、こんなにうれしいことはありません。



バングラデシュ進出希望の日本企業の代表者と工業省大臣との面談



照明器具、電機材料の卸売から特注照明へ 強力な信頼と実績を土台に、海外市場にも挑戦

1968(昭和43)年に、ものづくりのまち・東大阪で誕生した八紘電機株式会社は、2畳の土間から始まりました。ひたすら顧客のニーズに応え、従業員・協力会社・取引先などと一緒に成長してきた、真っ直ぐな会社です。今、国内だけにとどまらず、世界のパートナーの開拓に勤む同社。専務取締役の淡野幸子氏にインタビューしました。



専務取締役

淡野 幸子 氏

1969(昭和44)年 東大阪市生まれ。学校卒業後、施工管理
会社で設備設計に従事
1996(平成8)年 八紘電機に入社
2014(平成26)年 専務取締役に就任

社名 / 八紘電機株式会社
代表者 / 代表取締役 淡野敬一
設立 / 1968(昭和43)年
資本金 / 2,000万円
従業員 / 25人(2021年4月現在)
事業内容 / 意匠照明器具のデザイン・設計・製作・組立 制御
盤・建築系装飾製品の設計製造・販売 上記付帯の
アフターサービス業務
所在地 / 東大阪市七軒家12-20
TEL / 06-6746-1195
URL / <http://yahirodenki.com/company/>
WEB 工場見学のお申し込みは yahiro@yahirodenki.comへ

■顧客のニーズに対応した既製品の加工

——創業の経緯と当時の事業について教えてください。

淡野 私の父である淡野紘司(現取締役会長)が、照明器具や電材(電機材料)の卸売業をしている会社から独立して起業しました。以前からお付き合いのあったお客様に支えられながら、細かなニーズに応じているうちに、販売にとどまらず、照明器具の加工も多く手がけるようになりました。

——照明器具の加工とはどのようなものですか？

淡野 お客様の用途に応じた既製品照明器具の、手直しです。例えば、購入した既製品のままでは会社の工場や作業現場に取り付けられないので、それができるように加工します。そうこうするうちに、照明器具そのものをつくってほしいという要望が入るようになり、創業から2年ほどでオーダーメイドの照明器具を製造するようになりました。それが1970(昭和45)年ごろです。先代社長は「自分で図面を描いたほうが速くて安い」と、設計士のところに通いつめて勉強し、図面から製作するようになりました。

——取引先はどのように広げていったのですか？

淡野 しばらくは先代社長の独立前からお世話になっていた照明器具メーカーだけだったのですが、縁あって大手電機メーカーを紹介してもらうことができ、大手からの仕事が次第に増えてきたという感じです。いろいろと細かな注文にも対応できる、融通が利くという点を買ってもらえたようです。売り上げは順調に伸び、コンスタントに増資もしていきました。

■苦境からの復活と新分野への参入

——経営が厳しかった時期もありましたか？

淡野 1998(平成10)年辺り、いわゆる“平成不況”の時期はかなり苦しかったのですが、昔から何かと助けてもらっていた取引銀行から融資を受けて再構築を図りました。10年後の2008(平成20)年には完済でき、代替わりも果たしました。今は夫の淡野敬一が代表を務めています。



社屋

——今の御社を見ると、見事なV字回復ですね。

淡野 お客様との縁がまた縁を生んでどんどん広がり、取引先の顔ぶれもがらっと変わりました。特に、外資系5つ星ホテルの特注照明に参入した照明器具メーカーから、発注を受けられるようになったのが大きな転機でした。これも、同メーカーのキーパーソンとの出会いがきっかけでした。その分野への参入は彼らにとっても大きなチャレンジで、当社もそれに応えられるよう尽力しました。この5、6年で、取引先と共に当社も一気に成長することができたと思います。

——現在地に移転したのもその時期でしょうか？

淡野 2015(平成27)に初めて新卒採用を行ったのを機に、さらに広い現在地に移転しました。ここからまた、新たな時代が始まったと感じています。若い人が増えると、本当に会社の空気が変わりました。まだ現役で頑張ってくれている、創立当初からのベテラン社員たちの張り切り具合が違うのも分かります。

■日本の伝統工芸を生かし、世界へ新しい価値を

——新たに手がけている製品や、新しい取り組みなどはありますか？

淡野 一つは、今年の3月からスタートした「WEB工場見学」です。これまでも随時工場のご案内はしていたのですが、



展示会に出展



工場での製作風景

コロナ禍で現場参集が難しくなったので、オンラインで見学していただけるようにしたものです。まだ始めたばかりですが、参加企業同士のつながりも生まれて、よい感触を得ています。今後も月1、2回程度の開催を継続していくつもりです。

もう一つは、日本の伝統工芸を取り入れた照明器具の製作です。2016(平成28)年に世界的に有名なプロダクトデザイナーが設計した和紙照明の製作に携わったのがきっかけです。今、伝統工芸や技術は衰退しつつあります。そんな中、国内はもちろん海外の方々に、伝統工芸と照明の新しい融合によって、その素晴らしさをアピールできればと考えました。

——すでに海外に向けて発表されているのですか？

淡野 2018(平成30)年には当社オリジナルデザインの和紙照明、2020(令和2)年には金沢の希少な金箔技術を持つ会社とコラボしたオリジナル金箔照明「GOLDBLU lamp」を香港の展示会に出展しました。和紙や金箔の他にも魅力的な技術はたくさんあるので、「伝統工芸×照明」のコラボ品はこれからも積極的に提案していくつもりです。

——今後の展望をお聞かせください。

淡野 取引先と共に参入した外資系高級ホテルの特注照明製作は、現在当社にとって欠かせない重要な主力になっています。他社に真似できない対応力や技術力も磨きながら、今後はこの分野をさらに伸ばしていきたいと考えています。



製作事例

新製品 & 注目製品情報

森村金属株式会社

天井漏水
ストップ機能

導水システム天井

特許取得済

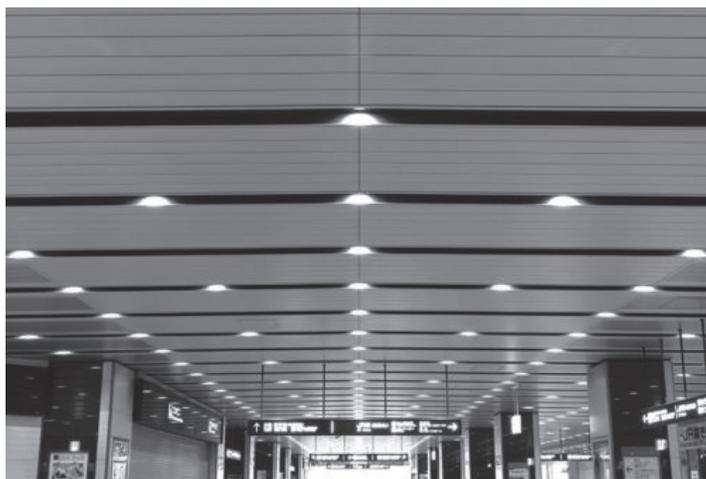
NEW

意匠性を損なわずに漏水対策ができる画期的システム

導水システム天井は、仕上材=受樋とすることが付加された天井材です。工期短縮に加え、これまで漏水対策が不可能だった天井懐の狭い建築物での施工が可能になります。

〈特長〉

- 意匠性を損なわず、メタルシーリングで漏水を導く。
- 様々な開口箇所から発生する漏水に対応。
- 最小限の天井懐で、点検口から躯体のチェックが可能。
- 高架駅舎をはじめ、様々な地下施設の漏水にも対応。



お問い合わせ先

森村金属株式会社

TEL 072-962-7321

<http://www.morison.co.jp/>

株式会社九飛勢螺

クギ打ち機で打てるネジ ピアスバレット

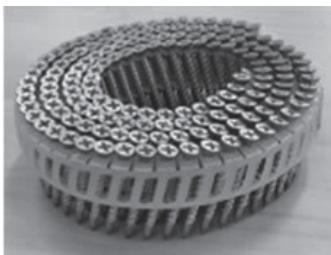
NEW

クギ打ち機で連打できるネジ

市販のクギ打ち機をそのまま使い、木材と鋼製下地を瞬時に接合出来る新世代ファスナー。クギとビスの利点を兼ね備え、施工スピードが速い上、締結強度が高いのが特徴です。

〈特長〉

- 片手での作業が可能なので施工スピードが速く、安全性が向上
- ねじ山が高く、かつ全ねじなので下地材と取り付け部材の両方にねじが効き高い締結強度が得られます。
- ドライバー等で逆転すると取り外しができます。



お問い合わせ先

株式会社九飛勢螺

TEL 06-6681-5858

<https://www.qp-seira.jp/index.html>

新製品&注目製品情報

越井木材工業株式会社

内装用防火木材 スーパーD パネル

NEW

「潮解現象」や「白華現象」が起きにくくした内装用防火木材

スーパーD パネルは吸湿性の低い防火薬剤と防湿性の高い独自の塗装を組み合わせることで、防火薬剤の吸湿によって発生する潮解・白華現象を、従来品に比べ、無塗装品の実測値で約98%低減しました。

〈特長〉

- 潮解・白華現象を約98%低減(従来品比)。
- 乾燥時間の短縮により、従来品よりリードタイムを短縮。



※写真はイメージです。

お問い合わせ先 越井木材工業株式会社 TEL 06-6685-2064 <https://www.koshii.co.jp>

八紘電機株式会社

オーダーメイド照明器具

NEW

特注照明器具を設計から製作までワンストップで

50年以上培ってきた技術を活かし、多様な金属の材質や形状の特性に合わせ一点一点丁寧に仕上げるのが同社製品。特に溶接跡の仕上げの美しさや見えない箇所でのこだわりは各所から高い評価を得ており、日本各地のホテルや公共施設など幅広く採用されています。



お問い合わせ先 八紘電機株式会社 TEL 06-6746-1195 <http://yahirodenki.com/>

「省エネ適判対象建築物の規模拡大について」

住宅・建築物の省エネルギー性能(以下「省エネ性能」という。)の向上を図ることは喫緊の課題となっており、令和2年9月4日に、「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部を改正する法律(改正建築物省エネ法)」(令和元年法律第4号)の施行に関し、施行期日を定める政令が閣議決定され、改正法が令和3年4月1日から施行されました。

○改正建築物省エネ法の概要

1. 適合義務制度の対象拡大

従来、大規模(2,000㎡以上)の非住宅を対象としている適合義務について、中規模(300㎡以上)の非住宅まで拡大されました。

2. 説明義務制度の創設

小規模な住宅・建築物(300㎡未満)については、従前制度において適合義務や届出義務の対象とはなっておらず、省エネ性能の向上の努力義務が課せられていました。

今回の改正では、建築主に対する「省エネ性能の向上」から「省エネ基準への適合」に強化するとともに、設計の際に、建築士から、省エネ基準への適否、適合しない場合は省エネ性能確保のための措置について、建築主に対する説明を義務づけられました。

建築物省エネ法における従前制度と改正法との比較(規制措置)

	従前制度		→	改正法	
	建築物	住宅		建築物	住宅
大規模 (2,000㎡以上)	特定建築物 適合義務 【建築確認手続きに連動】	届出義務 【基準に適合せず、必要と認める場合、指示・命令等】	→	特定建築物 適合義務 【建築確認手続きに連動】	届出義務 【基準に適合せず、必要と認める場合、指示・命令等】 所管行政庁の審査手続を合理化 ⇒ 監督(指示・命令等)の実施に重点化
中規模 (300㎡以上、2,000㎡未満)	届出義務 【基準に適合せず、必要と認める場合、指示・命令等】			適合義務 【建築確認手続きに連動】	
小規模 (300㎡未満)	努力義務 【省エネ性能向上】	努力義務 【省エネ性能向上】		努力義務 【省エネ基準適合】 + 建築士から建築主への説明義務	努力義務 【省エネ基準適合】 + 建築士から建築主への説明義務
		<div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> トップランナー制度※ 【トップランナー基準適合】 対象住宅 持家 建売戸建 </div>		<div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> トップランナー制度※ 【トップランナー基準適合】 対象の拡大 対象住宅 持家 建売戸建 注文戸建 貸家 賃貸アパート </div>	

※大手住宅事業者について、トップランナー基準への適合状況が不十分であるなど、省エネ性能の向上を相当程度行う必要があると認める場合、国土交通大臣の勧告・命令等の対象とする。



ユニークな企業として建築文化に貢献します。

平田タイル

- 本社●京阪タイル・エクステリア建材部●阪神タイル・エクステリア建材部
- 横浜タイル・エクステリア建材部●本店タイル工務部
- 本店住設特販部●本店住設営業部●本店住宅建材部
- 京滋住宅建材部●兵庫住宅建材部●横浜住宅建材部
- 岡山支店●広島支店
- カバリング営業部●サンクレイ営業部
- オレンジ平田タイル 工事営業部

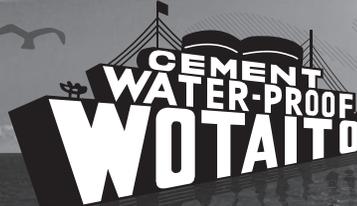
本 社 ■〒550-0011 大阪市西区阿波座1-1-10 TEL.06-6532-1231 FAX.06-6532-0923
 東 京 ■〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー18F TEL.03-5308-1130 FAX.03-5308-1131

■住宅設備機器 ■住宅建材 ■タイル
 ■タイル工事 ■住宅設備機器設置工事 ■オリジナルタイル

登録証番号: JQA-QM4721
 内外装タイル工事
 住宅設備機器設置工事

www.hiratatile.co.jp/





Since 1915

株式会社 ウォータイト

兵庫県尼崎市東難波町3-26-9 TEL.06-6487-1546(代) FAX.06-4868-3677 <http://www.wotaito.co.jp>

ハイスピードセルフドリリングスクリュー

EXCELOne

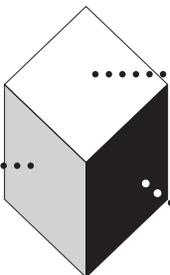
EXCELOne が
街づくりを**加速**させる!




株式会社 丸エム製作所 〒574-0015 大阪府大東市野崎4-7-12
<http://www.maruemu.co.jp> TEL.072-863-0100 FAX.072-863-0160
 E-Mail : bulldog@maruemu.co.jp

SPACE TECHNOLOGY

きめ細かくスピーディに仕上げる…



SPACE PRODUCTS

耐久性に優れた高品質の建材をつくる…

SPACE DESIGN

空間との調和を創造する…

建築空間を演出するNIKKOのスペース技術

天井ルーバーシステム

天井メッシュシステム

外装ルーバーシステム



日幸産業株式会社

本社 / 大阪営業所 大阪市東住吉区中野4丁目4-35
 TEL. 06(6704)5084 FAX. 06(6704)5080
 東京営業所 東京都港区浜松町1丁目2-12
 TEL. 03(3438)0633 FAX. 03(3438)0669

GBRC便り

燃焼熱試験装置(ポンブカロリメーター)のご紹介

1. はじめに

耐火構造・材料試験室ではこの度、物質単体が完全燃焼した際の単位質量当たりの発熱量(燃焼熱)を測る燃焼熱試験装置(ポンブカロリメーター)を導入しました。

壁紙や塗料、接着剤の燃焼熱を直接求めたい場合に有効な試験方法です。試験規格としてはISO 1716¹⁾がヨーロッパにおける材料の防火区分(EN 13501-1²⁾)のうち、A1とA2のクラスに求められる試験となります。また、別の試験規格(ISO 1928³⁾等)を用いることで、建築材料以外にも液体燃料、食品、コークス、鉱物まで多種多様な素材の燃焼熱が測定可能です。

本稿では装置の概要および試験方法についてご紹介します。

2. 測定原理及び装置の概要

測定原理として、試験体を高圧酸素条件下のポンベ内で完全燃焼させます。そして、燃焼で発生した熱を水槽に満たした水に吸収させ、水温の上昇を測定することで燃焼熱を求めます。

試験装置は試験体を完全燃焼させる鋼製のポンベと、試料の燃焼によって発生した熱を水に吸収させる為の水槽から構成されています。なお、装置の水槽は2層構造となっており、ポンベが設置される内槽と、水温を一定に保つための外槽に分かれています。

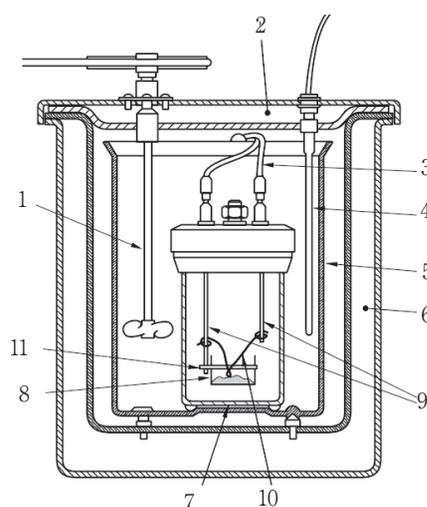
試験装置の仕様を表-1に、試験装置概要図を図-1に、試験装置の外観を写真-1にそれぞれ示します。

表-1 試験装置仕様

型式	IKA 製 C200
試験体燃焼用ポンベ	ステンレス製 耐ハロゲンポンベ
測定範囲	1kJ 以上 40kJ 以下
測定精度	安息香酸(26456J/g)に対し±80J/g
試験環境	20～25℃、80%RH 以下

3. 試験方法

試験に先立ち、キャリブレーションとして安息香酸を約1g計量し、燃焼熱を測定します。安息香酸は真の燃焼熱が規定されており、 $26456 \pm 80 \text{J/g}$ となります。安息香酸の燃焼により、水温上昇1K当たりの燃焼熱(水当量)を決定します。



- | | | |
|--------------|-------------|----------|
| 1. かくはん棒 | 2. ふた | 3. 点火導線 |
| 4. 温度計 | 5. 内槽 | 6. 断熱層 |
| 7. ポンベ | 8. るつぼ | 9. 点火ロッド |
| 10. 着火源(木綿糸) | 11. るつぼホルダー | |

図-1 試験装置概要図¹⁾



写真-1 試験装置外観



写真-2 試験体燃焼用ボンベ(分解状態)



写真-3 ボンベ設置状況



写真-4 試験体の設置状況(フェノールフォーム)

試験では、細かく粉碎させた試験体をるつぼに入れ、着火源に触れさせます。燃焼熱が低い材料の場合、パラフィンなどの助燃剤を用いて完全燃焼させるように調整します。写真-2,3にボンベの状況を、写真-4に試験体(フェノールフォーム)の設置状況を示します。

4. おわりに

燃焼熱を求めることにより、ISO 1716に基づく輸出建材の性能確認が可能になるほか、日本国内については国土交通大臣認定における性能評価の際、認定仕様にバリエーションがある場合に防火上最不利となる試験体選定の根拠データとして活用いただくことができます。また、燃焼熱のデータを蓄積することで、幅広い仕様を認定に含めることができ、従来複数仕様の性能評価試験を行っていたものをまとめることも可能となります。

今後も更なる試験の幅広いニーズにお応えできるよう、サービス向上に努めて参りますので、引き続きご利用、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

■お問い合わせ先

一般財団法人 日本建築総合試験所
試験研究センター

耐火部 防耐火構造・材料試験室

担当者：鈴木、大上(おおうえ)

〒563-0035大阪府池田市豊島南二丁目204番地

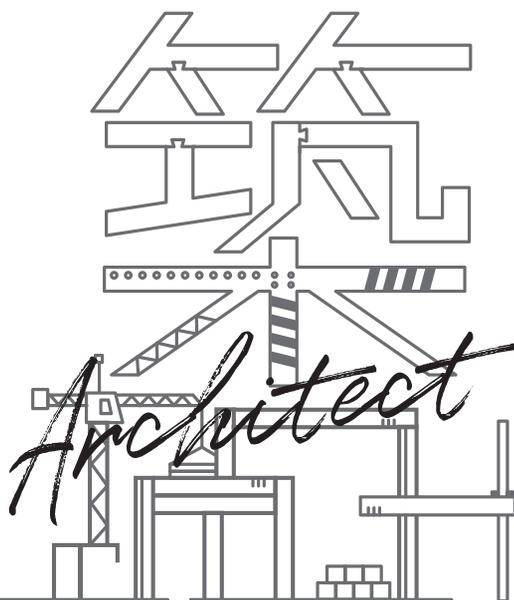
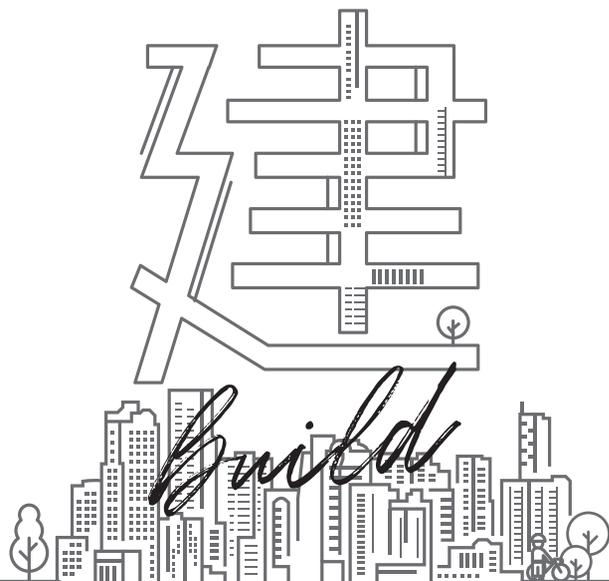
TEL：072-760-5053 FAX：072-760-5063

E-mail：info.taika@gbrc.or.jp

【参考文献】

- 1) ISO 1716:2018 “Reaction to fire tests for products — Determination of the gross heat of combustion (calorific value)”
- 2) EN 13501-1:2018 “Fire classification of construction products and building elements. Classification using data from reaction to fire tests”
- 3) ISO 1928:2009 “Solid mineral fuels. Determination of gross calorific value by the bomb calorimetric method and calculation of net calorific value”

西日本最大級建築・住宅設備総合見本市



KENTEN 建 展

建築材料・住宅設備総合展 2021

6.10 木 ▶ 11 金

10:00~17:00 インテックス大阪
(大阪市住之江区南港北1-5-102)

主催：一般社団法人日本建築材料協会、日本経済新聞社、テレビ大阪(順不同)
共催：大阪建築金物卸商協同組合 運営：テレビ大阪エクスプロ

出展・来場に関するお問い合わせ

建築材料・住宅設備総合展 KENTEN事務局
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-2-15(テレビ大阪エクスプロ内)
Tel: 06-6944-9916 Fax: 06-6944-9912 E-mail: kenten@tvcoe.co.jp

<http://ken-ten.jp>

併催展 KENTEN 旧建築現場アップグレードフェア
建築・建設現場生産性向上フェア

SANITIZER STAND

消毒液スタンド ペダル式

UNION
ARTWARE



MOVIE

足元のペダルを踏むだけで消毒液を噴射、ポンプに触れずに両手を消毒することができます。
天板には携帯電話などを置くことができ、受付や施設入口に最適です。



UDH320-SIL

UDH320-PWH

UDH320-MBK

建築文化を創造する

株式会社 **ユニオン**
www.artunion.co.jp

本社・大阪支店
東京支店

〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22 tel 06-6532-3731
〒135-0021 東京都江東区白河2-9-5 tel 03-3630-2811
名古屋営業所・ショールーム 〒454-0805 名古屋市中川区舟戸町3-20 tel 052-363-5221

UNION HONG KONG HOLDINGS LIMITED Unit 1001, 10/F Mira Place Tower A, 132 Nathan Road Tsim Sha Tsui, Kowloon, Hong Kong tel: (852)-3928-5634

大阪ショールーム 〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22 tel 06-6532-8920
東京ショールーム 〒135-0021 東京都江東区白河2-9-5 tel 03-6689-2980

図／新築住宅（戸数・前年同月比）

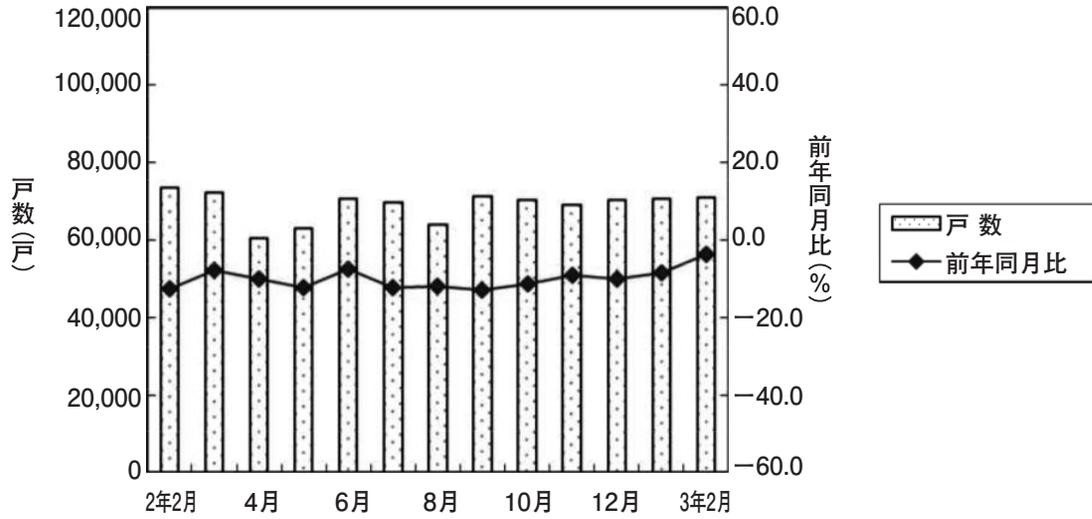


表1／建築物：総括表

		床面積の合計			工事費予定額		
		千平方メートル	対前月比 (%)	対前年同月比 (%)	百万円	対前月比 (%)	対前年同月比 (%)
建築物計		8,595	2.6	△4.8	1,903,458	2.2	0.4
主別	公共	321	△22.8	14.3	85,021	△42.1	4.6
	国	20	△20.7	△40.3	4,141	△59.7	△31.0
	都道府県	96	△29.8	30.1	25,875	△44.8	21.8
	市区町村	204	△19.2	18.4	55,006	△38.6	1.8
	民間	8,274	3.9	△5.4	1,818,437	6.0	0.2
	会社	4,753	1.2	△8.7	1,091,353	7.0	3.2
	会社でない団体	394	3.9	△16.5	110,304	△10.3	△26.9
	個人	3,127	8.4	2.0	616,780	7.7	1.8
	用途	居住用	5,250	4.7	△3.2	1,048,278	3.0
居住専用		5,031	5.0	△2.0	985,494	2.8	△2.4
居住産業併用		220	△1.1	△23.4	62,783	5.6	△35.0
非居住用		3,345	△0.6	△7.2	855,180	1.4	8.4
用途	農林水産業用	126	7.5	45.4	13,471	28.4	52.6
	鉱業、採石業、砂利採取業、建設業用	70	△2.4	29.6	11,056	△11.0	19.8
	製造業用	518	△0.1	2.5	124,242	10.6	11.2
	電気・ガス・熱供給・水道業用	48	△21.1	3.7	33,339	167.4	△12.7
	情報通信用	28	92.5	1.6	13,598	383.9	△19.2
	運輸業用	561	△1.1	△51.9	97,356	5.3	△36.1
	卸売業、小売業用	461	49.0	0.0	89,215	42.1	12.4
	金融業、保険業用	21	68.4	74.6	7,971	96.9	104.1
	不動産業用	338	△26.1	97.2	113,497	△24.1	61.4
	宿泊業、飲食サービス業用	146	△3.1	△28.4	57,992	13.4	△13.6
	教育、学習支援業用	161	△25.3	4.4	54,028	△20.2	18.4
	医療、福祉用	405	△3.7	8.0	119,341	△10.2	16.6
	その他のサービス業用	332	63.8	61.8	87,296	63.9	85.8
	公務用	78	△55.1	△13.2	24,288	△64.1	△10.1
その他	50	△28.7	15.1	8,490	△27.9	△5.8	
構造別	木造	3,775	5.6	1.1	648,296	5.5	1.0
	非木造	4,819	0.4	△8.9	1,255,161	0.6	0.1
	鉄骨鉄筋コンクリート造	198	106.4	△4.9	63,469	100.5	44.3
	鉄筋コンクリート造	1,462	0.9	△27.9	423,964	△0.9	△14.5
	鉄骨造	3,083	△3.1	2.8	758,118	△1.6	7.0
	コンクリートブロック造	4	△11.8	△4.5	1,032	△5.7	30.1
その他	72	4.9	40.4	8,578	△47.1	102.2	

表2/新設住宅：統括表

		戸 数			床 面 積 の 合 計		
		戸	対前月比(%)	対前年同月比(%)	千 平 方 メートル	対前月比(%)	対前年同月比(%)
新 設 住 宅 計		60,764	4.0	△3.7	5,045	4.6	△2.9
建 主 築 別	公 共	830	13.4	△21.6	52	36.6	△17.3
	民 間	59,934	3.8	△3.4	4,993	4.3	△2.7
利 用 関 係 別	持 家	20,390	6.2	4.3	2,388	6.9	3.8
	貸 家	22,556	14.0	△0.4	1,031	13.1	△2.5
	給 与 住 宅	420	15.1	△23.4	29	27.7	△6.1
	分 譲 住 宅	17,398	△8.9	△14.6	1,598	△3.5	△11.5
資 金 別	民 間 資 金	54,764	3.2	△2.7	4,467	3.1	△2.9
	公 的 資 金	6,000	11.5	△12.2	579	17.5	△2.5
	公 営 住 宅	829	13.9	△4.3	52	37.2	2.6
	住 宅 金 融 機 構 融 資 住 宅	2,625	1.8	△23.2	267	1.9	△18.9
	都 市 再 生 機 構 建 設 住 宅	0	-	△100.0	0	-	△100.0
	そ の 他 の 住 宅	2,546	22.8	5.7	260	34.9	26.7
構 造 別	木 造	35,448	6.1	△1.0	3,473	6.4	0.9
	非 木 造	25,316	1.1	△7.2	1,572	0.8	△10.3
	鉄 骨 鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造	118	△60.7	△81.0	7	△63.8	△81.3
	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造	15,857	△2.6	△9.3	909	△3.4	△11.9
	鉄 骨 造	9,273	10.3	1.8	649	9.8	△3.9
	コ ン ク リ ー ト ブ ロ ッ ク 造	24	△33.3	△27.3	2	△34.6	△35.3
	そ の 他	44	76.0	41.9	5	44.7	36.9

表3/新設住宅着工・利用関係別戸数、床面積

(単位：戸,千㎡,%)

	新 設 住 宅 着 工 戸 数 , 床 面 積												季 節 調 整 値 年 率	
	総 計	床 面 積		持 家		貸 家		給 与 住 宅		分 譲 住 宅		(千戸)	前 月 比	
		前 年 比	前 年 比	前 年 比	前 年 比	前 年 比	前 年 比	前 年 比	前 年 比					
平成 22年度	819,020	5.6	73,876	9.0	308,517	7.5	291,840	-6.3	6,580	-50.3	212,083	29.6		
平成 23年度	841,246	2.7	75,748	2.5	304,822	-1.2	289,762	-0.7	7,576	15.1	239,086	12.7		
平成 24年度	893,002	6.2	79,413	4.8	316,532	3.8	320,891	10.7	5,919	-21.9	249,660	4.4		
平成 25年度	987,254	10.6	87,313	9.9	352,841	11.5	369,993	15.3	5,272	-10.9	259,148	3.8		
平成 26年度	880,470	-10.8	74,007	-15.2	278,221	-21.1	358,340	-3.1	7,867	49.2	236,042	-8.9		
平成 27年度	920,537	4.6	75,592	2.1	284,441	2.2	383,678	7.1	5,832	-25.9	246,586	4.5		
平成 28年度	974,137	5.8	78,705	4.1	291,783	2.6	427,275	11.4	5,793	-0.7	249,286	1.1		
平成 29年度	946,396	-2.8	75,829	-3.7	282,111	-3.3	410,355	-4.0	5,435	-6.2	248,495	-0.3		
平成 30年度	952,936	0.7	76,573	1.0	287,710	2.0	390,093	-4.9	7,958	46.4	267,175	7.5		
令和 元年度	883,687	-7.3	73,107	-4.5	283,338	-1.5	334,509	-14.2	6,108	-23.2	259,732	-2.8		
2. 1 - 2. 2	123,446	-11.2	10,015	-11.5	37,594	-12.4	46,785	-11.2	849	-36.5	38,218	-9.2		
3. 1 - 3. 2	119,212	-3.4	9,870	-1.4	39,590	5.3	42,350	-9.5	785	-7.5	36,487	-4.5		
31. 4 - 2. 2	812,958	-7.2	67,258	-4.3	261,011	-1.6	307,964	-14.9	5,471	-27.2	238,512	-1.4		
2. 4 - 3. 2	740,377	-8.9	60,462	-10.1	240,757	-7.8	275,773	-10.5	6,530	19.4	217,317	-8.9		
2年 2月	63,105	-12.3	5,194	-10.9	19,557	-11.1	22,638	-18.9	548	-36.5	20,362	-3.9	846	3.9
3月	70,729	-7.6	5,848	-7.5	22,327	-0.3	26,545	-6.6	637	44.8	21,220	-16.1	889	5.1
4月	69,568	-12.4	5,758	-11.8	21,018	-17.4	25,379	-14.0	614	-40.4	22,557	-3.6	819	-7.9
5月	63,839	-12.0	5,195	-15.2	19,697	-20.7	24,041	-8.1	344	-8.0	19,757	-6.9	800	-2.3
6月	71,101	-12.8	5,861	-14.4	23,650	-16.7	26,666	-13.0	596	-5.7	20,189	-7.7	808	1.1
7月	70,244	-11.3	5,616	-15.6	22,708	-13.6	27,696	-8.8	481	-23.0	19,359	-11.8	830	2.7
8月	69,101	-9.1	5,466	-14.6	21,915	-8.8	27,671	-5.4	582	147.7	18,933	-15.9	807	-2.8
9月	70,186	-9.9	5,825	-9.2	22,337	-7.0	25,053	-14.8	637	37.3	22,159	-7.8	803	-0.5
10月	70,685	-8.3	5,735	-10.2	23,013	-6.1	26,043	-11.5	923	193.0	20,706	-9.6	813	1.2
11月	70,798	-3.7	5,750	-4.7	24,010	1.5	26,451	-8.1	789	192.2	19,548	-6.1	819	0.7
12月	65,643	-9.0	5,385	-7.9	22,819	2.4	24,423	-11.5	779	15.2	17,622	-18.4	784	-4.2
3年 1月	58,448	-3.1	4,825	0.1	19,200	6.4	19,794	-18.0	365	21.3	19,089	6.9	801	2.2
2月	60,764	-3.7	5,045	-2.9	20,390	4.3	22,556	-0.4	420	-23.4	17,398	-14.6	808	0.8

※詳細は国土交通省ホームページ参照 <http://www.mlit.go.jp/statistics/details/index.html>

協会の行事・活動 2021年4月～7月

財務部 / 2021年4月20日(火) 財務部会
 監事 / 2021年4月20日(火) 会計監査
 総務部 / 2021年4月22日(木) 理事会
 2021年5月12日(水) 役員会

※通常総会・優良社員表彰式は秋頃に延期

国内事業部 / 2021年6月10日(木)～11日(金) 2日間
 建築材料・住宅設備総合展 KENTEN2021
 会場：インテックス大阪 4号館

広報宣伝部・会勢部 / 2021年6月 広報宣伝部・会勢部合同会議
 会員交流部・海外事業部 / 2021年7月 会員交流部・海外事業部合同会議
 優良製品・技術表彰 選考委員会 / 2021年6月10日(木) 選考会
 建材研究委員会 / 2021年6月 委員会議
 技術委員会 / 2021年6月 委員会議

広告出稿企業

(50音順・数字は掲載頁)

(株)アサノ	2
(株)アシスト	3
(株)ウォータイト	23
エスケー化研(株)	4
王建工業(株)	7
オーケーレックス(株)	5
関包スチール(株)	10
(株)九飛勢螺	6
児玉(株)	11
コニシ(株)	表3
(株)サワタ	12
ナカ工業(株)	8
二三産業(株)	13
日幸産業(株)	23
(株)ハウゼコ	9
(株)平田タイル	23
(株)丸エム製作所	23
マツ六(株)	表4
森村金属(株)	14
(株)ユニオン	27
(株)淀川製鋼所	表2
淀鋼商事(株)	15

けんざい編集委員

編集委員長	市山太郎	日幸産業(株) 代表取締役
編集副委員長	神戸 睦史	(株)ハウゼコ 代表取締役社長
編集長	佐藤 榮一	(一社)日本建築材料協会 常務理事
編集委員	川端 節男	関包スチール(株) 執行役員
	平田 芳郎	(株)平田タイル 取締役
	石本 謙一	(株)丸エム製作所 常務取締役
	西村 康弘	コニシ(株) 大阪汎用住宅部 住宅グループ リーダー
	田中 一裕	エスケー化研(株) 総務部 広報チーム

本誌に掲載の写真・図表は、当協会で撮影、または執筆者・取材先からご提供いただいたものです。無断で引用・転載を禁じます。

けんざい Vol.271

発行日 令和3年4月(年4回発行)
 発行 一般社団法人 日本建築材料協会
 大阪市西区江戸堀1-4-23 撞木橋ビル 4階
 TEL: 06-6443-0345(代) FAX: 06-6443-0348
 URL: <http://www.kenzai.or.jp>
 発行責任者 佐藤 榮一
 編集 株式会社新通
 TEL: 06-6532-1682(代)
 印刷 株式会社宣広社
 TEL: 06-6973-4061

関東支部 東京都千代田区内幸町1-1-1
 帝国ホテルタワー16F
 (株式会社ノグチHD内) TEL: 03-6811-2960
 中部支部 名古屋市西区菊井2-14-19
 (エスケー化研株式会社内) TEL: 052-561-7712
 中国支部 広島市西区商工センター二丁目9番25号
 (アスワン株式会社内) TEL: 082-278-0020
 四国支部 香川県高松市天神前10-5
 高松セントラルスカイビル 5F
 (株式会社淀川製鋼所内) TEL: 087-834-3611
 九州支部 福岡市中央区那の津3-12-20
 (越智産業株式会社内) TEL: 092-711-9171



「物を大切に」
100回言われるより、
1回つくるほうが、身につく。



安心のそばに。

建物の耐震化などで、
コニシの接着技術が
活躍中！



暮らしのそばに。

家づくりに関わる様々な
ところでコニシの製品が
活躍中！



創造のそばに。

工作などで
ボンド木工用や
ウルトラ多用途SUが
活躍中！

くっつける力で、いい明日をつくりたい。 <http://www.bond.co.jp>

 **コニシ株式会社**



置くだけの
レンタル手すり



現場で
曲げられるので
仕上がりが美しい

創業百周年という節目を迎えた本年に、
PSアワード2020
経済産業大臣賞を
受賞しました！



今後もさらなる製品安全の向上に努めて参ります。



部材が豊富だから
途切れずつながる



カットできるから
即日カスタマイズ



感謝百年
Centennial



マツ六株式会社
<https://www.mazroc.co.jp/>

